

平成二十九年 都城歴史資料館 企画展

大島畠田遺跡から

島津荘へ

藤原道長など、
平安貴族邸宅跡の
出土品も展示します！！

むかしむかし 都城に

貴族のような優雅なくらしを

おくっていた人があつたげな...



イラスト：早川和子

平成29年12月1日(金) ～ 平成30年2月4日(日)

展示協力 京都市考古資料館・公益財団法人五島美術館・国立国会図書館・東京国立博物館・宮崎県埋蔵文化財センター

後援 朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社・宮崎日日新聞社・南日本新聞社

NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・BTV株式会社・シテイエフエム都城

問合せ 都城市教育委員会事務局文化財課 0986(23)9547

関連イベント
シンポジウム「大島畠田遺跡から島津荘へ」
日時：平成30年1月21日(日)
13:00～15:30
会場：ウエルネス交流プラザ ムジカホール
* 入場無料・申し込み不要
基調講演：東京大学名誉教授 五味文彦先生

都城歴史資料館

宮崎県都城市都島町 803 番地 電話：0986-25-8011
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
12月29日～1月3日
開館時間 9:30～17:00(ただし入館は16:30まで)
入館料 大人210円 高校生160円 小中学生100円
* 毎週土曜日は小中学生は無料
* 毎月第3日曜日は「家庭の日」で小学生以下同伴家族全員無料
* 「子育て応援カード」提示で家族全員無料

展示内容

～ 10分でわかる！教科書には載っていない都城の歴史（奈良・平安時代編）～

I 先駆者たちの足跡（8世紀～9世紀初頭）

奈良に大仏が造られた頃、都城はあまり栄えていなかったようですが、8世紀後半には、仏教や文字を知る身分の人々もくらしていたと考えられています。

*当時、仏教や文字は身分の高い人を中心に広まっていきました。

II 地方有力者の出現～第1次開発ラッシュ～（9世紀中頃～10世紀前半）

都城では、9世紀中頃から10世紀前半に爆発的に遺跡が増えます。

なかには、下級役人や平安京の貴族と変わらないくらしをおくる有力者もいたようです。金田町にある大島畠田遺跡は、地方有力者の邸宅跡と考えられており、地方有力者の出現を具体的に物語る貴重な遺跡として、国指定史跡として現地に保存され、歴史公園として市民に公開・活用されています。

III 源氏物語の世界—平安貴族のくらし—

今回、源氏物語のモデルの一人ともいわれる源融（河原大臣）や菅原道真を大宰府に追いやった藤原時平、教科書にも出てくる藤原道長・頼通といった有名な平安貴族の邸宅跡から見つかった資料を公益財団法人京都市考古資料館より借用して展示します。平安京で出土しているものと同じようなものが都城市内でも発掘されているので、都城盆地の地方有力者が、いかに平安京の貴族たちと変わらないくらしをおくっていたのかがうかがえます。

IV 無主の荒野から島津荘誕生へ—第2次開発ラッシュ— （10世紀後半～12世紀）

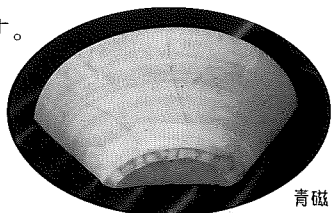
9世紀中頃から10世紀前半に爆発的に増えた遺跡は10世紀後半以降激減します。その原因はわかりませんが、都城盆地は管理する主を失った荒地が広がったと考えられます。

その後、万寿年間（1024～28）に平季基が開発し、関白藤原頼通に寄進し「島津荘」が成立します。荘園成立期以降は、盆地南部を中心に遺跡が営まれています。平成28年度に発掘調査が行われた郡元西原遺跡からは、「L字」に屈曲する平安時代末の大溝が発見され、「島津荘」の現地の経営拠点の可能性のある遺跡と考えられています。

V あそびとまじない

人付き合いが重要だった平安貴族たちの間で行われたあそびはどのようなものだったのか、また天変地異が多かった平安時代、貴族たちはまじないなどさまざまな儀式を行い、これを鎮めようとしてきました。

現代にも通じ、またちょっとほほえましい、当時のあそびとまじないを平安京と都城の資料から紹介します。



青磁（大島畠田遺跡）

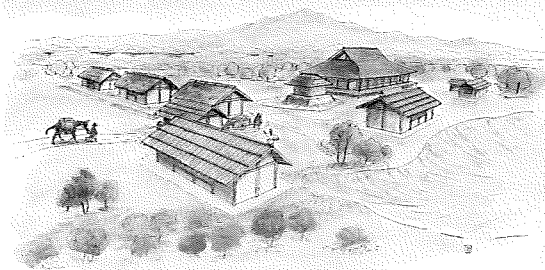
奈良・平安時代の主な出来事

- 710 都を奈良（平城京）に移す
- 712頃 水俣駅、島津駅が置かれる
- 785 東大寺に大仏が造られる
- 784 都を京都（長岡京）に移す
- 794 都を京都（平安京）に移す
- 810 葉子の変
- 842 承和の変
- 866 応天門の変
源融、共謀を密告されるが無実となる
- 872 源融が左大臣になる
- 894 遣唐使を廃止する
- 899 菅原道真が右大臣になる
藤原時平が左大臣になる
- 901 菅原道真が大宰府に左遷
- 905 『古今和歌集』完成
- 935 平将門の乱
- 936 藤原純友の乱
- 1001頃 清少納言『枕草子』を表す
- 1008頃 紫式部『源氏物語』を完成
- 1016 藤原道長が摂政となる
- 1019 藤原頼通が関白となる
- この頃、平季基が関白藤原頼通に島津荘を寄進する
- 1053 藤原頼通が平等院鳳凰堂を完成させる
- 1069 後三条天皇が荘園整理を行う
- 1086 白河上皇の院政がはじまる
- 1156 保元の乱
- 1159 平治の乱
- 1167 平清盛が太政大臣となる
- 1185 平氏が滅びる
- 〃 惟宗忠久が島津荘下司職に任命される（島津忠久と名乗るようになる）



墨書土器（大島畠田遺跡）

* □ は都城関連の出来事。下線は展示関連人物



大島畠田遺跡全景の想像図 イラスト：早川和子